失語症の発話能力に関する臨床研究の
参加協力者募集のための診療録の事前閲覧のお願い

実施責任者　所属　リハビリテーション部
職名　言語聴覚士
氏名　徳山　明子
実務責任者　所属　リハビリテーション部
職名　言語聴覚士
氏名　徳山　明子
連絡先電話番号　047-453-9000

当院では、上記の臨床研究を、当院倫理審査会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しております。

それにあたり、当院に入院または通院されている方、谷津居宅サービスセンターに通所されている方において、患者さんの診療録等を事前に確認させていただいております。そのうえで、以下の「1. 対象となる方」の基準に該当される方においては、担当者より本研究のご参加についてのご希望をお伺いさせていただくことがあります。

ご参加を希望されない場合は、ご希望をお伺いする際に断っていただいて構いません。研究への参加は、文書による説明および同意によってなされます。また患者さんのプライバシー保護について最善を尽くします。

本通知はご参加の前段階の診療録の閲覧の周知を目的としております。事前の閲覧を望まれない患者さんは、その旨を「7. お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1　診療録の事前閲覧の対象となる方および本研究の対象となる方

2024 年 3 月 12 日より 2025 年 3 月 31 日までの間に、東京湾岸リハビリテーション病院または東京湾岸リハビリテーションセンターにて失語症のリハビリテーションを受けた方のうち、20 歳以上 75 歳未満で、日本語を母語とする方を対象に診療録の事前閲覧をさせていただきます。

2　研究課題名

承認番号　312

研究課題名　失語症者の談話産生の評価方法に関する研究―課題画のカラーリングによる効果の検討―

3　研究実施機関

研究実施機関	実施責任者
国際医療福祉大学（主機関）	大石斐子
東京湾岸リハビリテーション病院（協力機関）	徳山明子
東京湾岸リハビリテーションセンター（協力機関）	徳山明子

4　本研究の意義、目的、方法

本研究の目的は、失語症における文の理解および産生に関わる要因を明らかにすることです。実際の会話場面で文がいかに使用されるかに着目することから、実用的なコミュニケーション能力の向上を目指すリハビリテーションにつながることが期待できます。

本研究の実施機関は国際医療福祉大学です。東京湾岸リハビリテーション病院および東京湾岸リハビリテーションセンターは、協力機関としてデータ収集を行います。個人が特定できる情報は東京湾岸リハビリテーション病院内または東京湾岸リハビリテーションセンター内でのみ閲覧し、外部に持ち出したり発表したりすることはありません。

5　本研究に参加された場合に協力をお願いする内容

本研究にご協力いただく方には、普段のリハビリテーションで実施しているような文を理解したり発話したりする課題に取り組んでいただきます。また、研究に必要な情報として、年齢、利き手、失語症の原因となる疾患名、頭部 MRI 画像または CT 画像、失語症検査の結果の開示をお願いします。これらのデータは全て匿名化したうえで解析しますので、研究成果を公表する際に個人が特定されることはありません。

6　本研究の実施期間

2024 年 3 月 12 日～2026 年 3 月 31 日

7　お問い合わせ

本研究に関する質問がある方、診療録の事前の閲覧を望まれない方は、以下の担当者にご連絡をお願いします。

氏名：　徳山明子
所属：東京湾岸リハビリテーション病院リハビリテーション部
連絡先：千葉県習志野市谷津 4-1-1
電話 047-453-9000

以上